

手足がはれたり、むくんだりしませんか？

第5号

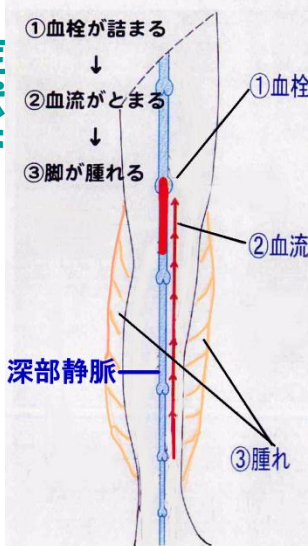
はーと通信

発行元
岡山赤十字病院
心臓血管外科

(しんぶじょうみやくけっせんしょう)

深部静脈血栓症って？

下肢の深部静脈が血栓のためにつまる病気です。(骨に近い静脈を深部静脈といいます。)



症状は？

心臓までの静脈の帰り道がなくなり、脚がはれる、むくむ、脚が重いなどの症状がでます。炎症を起こすと、赤くなったり、痛みを伴い歩けなくなります。



左足は腫れて、炎症をおこし赤くなっています。

原因は？

長い間同じ姿勢でいた後に起こります。航空機搭乗後におこることをエコノミークラス症候群といいます。手術の後や、お年寄りなどで長時間ベッドで寝ていると起こることがあります。



検査方法は？

● 血管エコー

もっとも簡単な検査です。静脈の中に血栓があるのが観察できます。

血管エコー

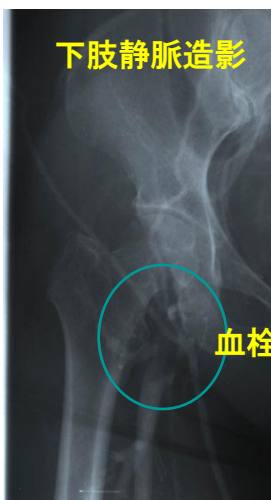
大腿動脈

大腿静脈

大腿静脈は血流がありません。血栓でつまり太くなっています。

● 下肢静脈造影

足の静脈に造影剤を入れて静脈の流れを撮影します。



治療方法は？

● 血栓溶解療法

血栓を点滴で溶かす方法です。ただし血栓ができてから、2週間以上経過していると効果がありません。

● 抗凝固療法

血栓が新たにできないように、血液をさらさらにするお薬を使用します。最初は点滴で、1週間後にはお薬の内服に変わります。

放置すると深部静脈血栓症は肺動脈塞栓症の原因となります。

足の静脈にできた血栓が心臓に飛んで肺動脈に詰まると心臓が止まることがあります。この病気は足だけの問題ではありません。



岡山赤十字病院 心臓血管外科

中西 浩之

TEL (086) 222-8811

ご心配な方は、心臓血管外科外来を受診してください。電話での相談でも結構です。